

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +85℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	電線サイズ	MAX AWG#26	
	電 流	2 A	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び 仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を 1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	—の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 — N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 50 N以下(ロック機構を除く)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10～55～10Hz/サイクル, 振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	衝撃	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、 ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100N以下でコネクタの破損が 無いこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ℃, 湿度90～95 %中に96時間 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃ →常温 時間 30 →2～3 → 30 → 2～3 分 を5 サイクル試験する。	①絶縁抵抗:100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい 腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で5±1秒間ワグ-ホット部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深 1.8mに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	MO. SATOH	08.08.22
			検 図	HY. KOBAYASHI	08.08.22
			担 当	TY. SUZUKI	08.08.21
			製 図	WR. AJIRO	08.08.09
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-116106-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF10WBRB-12P	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-1013-6-00	△ 1/1